

## 寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	特定非営利活動法人スペース
テーマ名	島根県遊技業協同組合 しまね福祉防犯協力会寄附「子どもの健全育成」
事業名	長期休暇子どもの居場所事業
事業費(うち助成金額)	596,691(500,000)
ネーミングライツ(該当があれば)	島根県遊技業協同組合・しまね福祉防犯協力会寄附



### ■事業目的

- ・学校が長期休みに入ると、日中一人で過ごす子どもたちは、困りごとがあっても、相談できず寂しく孤立しがちであること。
  - ・子どもたちの他者との関りが少なくなっている中、「人や社会と接する力が低い」「地域に愛着が持てない」子どもたちが増えていること。
  - ・ひきこもりや不登校、発達障害等の様々な困難を抱える子どもたちが気軽にほかの子どもたちと接する場所がないことや、支援の手が届かない状況にあること。
- これらを地域課題として捉え、その解決に向けた取り組みを目的とします。

### ■事業内容

学校の長期休暇中、児童クラブに入れなかった子どもや4年生以上の児童クラブ対象外の子ども、ひとり親・共働き家庭など、日中一人または子どもたちだけで過ごす子どもたちを対象にした事業です。

そのような子どもたちや地域の方、ボランティアが集まり、安心して過ごせる無料の居場所を提供する取り組みを3年前よりはじめました。

この活動は、学習支援だけではなく、体験活動、遊び、団らんができる場所としました。

夏休み、冬休み、春休みの計31日間開催しました。

地域の方とクッキングやマイバック作り、手品の観賞等の体験活動も実施できました。

### ■事業成果と今後の展望

今年度は、170名近くの応募があり、予想以上の応募に居場所事業の必要性を実感しております。アンケートにも、共働きの為、安心して仕事に出ることが出来た。おかげで休むことなく働くことが出来た。子どもが楽しそうに居場所の事を話してくれる、来年も参加したい、といった声が聞かれました。不登校の子どもが居場所を通しての交流をきっかけに、1年半ぶりに教室に入ることが出来たことが強く印象に残っています。大きなケガやクラスターもなく無事最後まで活動することが出来ました。夏、冬、春の居場所で合計延812名の子どもたちに参加して頂きました。たくさんの子どもの居場所の1つとして十分機能できたと考えております。

来年度以降も、島根大学の1000時間体験学修プログラムからの参加を継続してお願いしていきたいと考えています。

また、より幅広く、多くの地域の方に参加して頂けるような仕組みを作っていく、寄付金や助成金による財源の確保に努めます。将来的には、行政と連携し、安定した財源を確保することで、長期休みだけではなく、長期休み以外の平日の放課後にも開催し、より多くの様々な子どもたちが参加できるような活動にしていきたいと考えています。

## 寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	NPO 法人水の都プロジェクト協議会
テーマ名	株式会社伊藤園寄附～島根の自然環境保全～
事業名	宍道湖ふれあいエコツアーリング事業
事業費(うち助成金額)	487,562 円(450,000 円)
ネーミングライツ(該当があれば)	株式会社伊藤園寄附



### ■事業目的

近年、健全な水環境の確保や自然再生への取組みなど、湖沼に関わる人々の意識やこれを取り巻く状況は大きく変化してきており、身近な水辺としての湖沼の水質を改善し、豊かな水環境を回復しようとする機運が高まりつつある。

本事業は、地域住民の関心を具体的な環境保全活動に繋げるため、宍道湖北岸を船で巡り、宍道湖の環境について自ら考え地域住民による水環境保全の定着を解決することを目的とする取組みとなる。

### ■事業内容

参加者(一般、ファミリー30名)を募集し、嫁ケ島から宍道湖北岸沿いの浅場造成場や佐陀川河口部を船(矢田渡船)で巡り、嫁ケ島での水辺学習、浅場造成の役割、水際の生態や水鳥の観察等を実施する。又、コースは、無理なく巡ることが出来るルートとして延長約8km程度を設定する。

#### (コース設定要素)

- ・景観スポットの嫁ケ島での環境学習会により魅力度高める・水環境保全の人工的取組みスポット(水際の浅場造成)を選定・観察学習にふさわしいスポット(水辺植生、水鳥、自然生態等)を選定・安全性確保のため、水際沿いのルートを選定。

#### (実施体制)

エコツアーリング実施に当たっては、矢田渡船組合と連携し、事前にコースの安全確認や事前演習を行うとともに、ツアーリング時にサポート要員を配置するなど、安全確保に十分留意する。

### ■事業成果と今後の展望

湖上からの水際自然観察のため障害物が少なく、全体から細部まで眺める事ができ、観察スポットをより深く把握、学習できることを確認した。又、アンケート調査から撒餌による水鳥ウォッチングや宍道湖八景めぐりなど、移動途中のプログラムにより楽しいツアーリングに効果的である事なども確認できた。今年度の取組みで得られた、魅力度アップ、実施時期、料金設定などを再検討し、継続的な運営スタイルを設定する。又、人気の高かった嫁ケ島上陸など、新たなコース設定や協働体制の取組みを展開する。

#### (知的欲求を満足させるツアーリングコースの実施・設定)

- ・自然環境と歴史文化を合わせて体験できるコース設定。
- ・休憩スポットの立寄りなど変化のあるコース設定等。

#### (地域との協働連携体制の確立)

- ・小中学校の環境学習(総合学習)としての取組み。
- ・新たなエコツアーリングに対応するために、オプションツアーとして連携。
- ・マスコミ報道による、特色のある取組みの宣伝等。

## 寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	しまね “あそぼっ！”の会
テーマ名	島根県電気工事工業組合青年部寄附 ～子育てや社会教育の推進～
事業名	乳幼児の発達とスマホの関係を考える事業
事業費(うち助成金額)	300,301 円(300,000 円)
ネーミングライツ(該当があれば)	島根県電気工事工業組合青年部寄附



### ■事業目的

子どもの発達と今の子どもたちの育成環境、特にスマホ・タブレットとの関係を、子どもに関わるいろいろな立場の人たちが学び語り合うことにより、子ども特に乳幼児の発達に必要な環境を家庭・地域につくり出す。本来子どもが育つのに必要な多量な刺激を受けることができる環境が子どもたちの周りに作られ始め、命が予定したように普通に発達できる子どもが増えることと、地域に、子どもや子どもの育ちに関心を持つ人が増えることを、目指す。

### ■事業内容

乳幼児の発達とスマホの関係を考える事業

#### ① 講演会と話し合い 子どもの育ちとスマホとの関係に関する話

講師：田草雄一さん（ぼよぼよクリニック院長・松江市「子どもとメディア」に関する協議会会長）

参加形態：会場参加(託児付き)・オンラインでの参加 ・講演内容：2週間アーカイブ視聴可

#### ② わらべうたワークショップ

講師：岩田裕子さん（島根県立大学松江キャンパス非常勤講師・わらべうた）

#### ③ 「おそとであそぼっ！」体験会

講師：しまね “あそぼっ！”の会スタッフ 日時：7・9・10月(木) 10:30～11:30 場所：出雲かんべの里(松江市)

#### ④ 運動遊びワークショップ

講師：身体教育医学研究所 うなんんスタッフ

### ■事業成果と今後の展望

- ・コロナ禍での事業展開で、講演会は、参加形態（会場参加：託児付き・オンラインでの参加）講演内容（2週間アーカイブ視聴可）の工夫により、県内の多様な世代の参加(子育て当事者・子育て支援者・子どもNPO・県市町村担当課・子ども関係専門職)があり、啓発活動としての成果があった。(参加人数：47名)
- ・寄付者：島根県電気工事工業組合青年部への事業案内・チラシの配布等によって、「わらべうたワークショップ」見学参加があり働く世代子育て当事者への啓発・「寄附者設定テーマ事業」への応援・協力メッセージがもたらえた。
- ・「おそとであそぼっ！」体験会が、毎月開催されるしまね “あそぼっ！”の会「おそとであそぼっ！」事業参加につながり、継続されている。
- ・松江市「子どもとメディア」に関する協議会にて、事業紹介の機会をもらえ、乳幼児の外あそび「おそとであそぼっ！」が、松江市内に広がるスタートになりそうである。
- ・子育て当事者の目線での新聞記事掲載は、事業啓発応援につながった。(講演会・「おそとであそぼっ！」体験会)

## 寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	特定非営利活動法人スペース
テーマ名	新型コロナウイルス感染症対応事業フリーテーマ
事業名	無料受験対策講座事業(フリゼミ!)
事業費(うち助成金額)	298,762(250,000)
ネーミングライツ(該当があれば)	ティーエスケイ情報システム株式会社



### ■事業目的

コロナ感染症の影響によって、ストレスや不安を抱え、社会の変動という環境の大きな変化にともない、周囲の環境にうまく適応しきれない子供たちが増えているなか、不登校など学校の授業を受けられない子供、様々な理由で学習塾に通えない子供たちへの学力格差が生まれてしまうことを緊急の課題として考えています。コロナ感染症の影響により、様々な困難を抱える子供たちを含む、すべての受験生たちに平等に学ぶ場と機会を提供するため、無料の受験対策教室を開催し、学力格差の是正に貢献することを目的とします。

### ■事業内容

経済的に困難を抱える中学3年生の受験生を対象にした、無料での学習支援事業です。10月9日～2月26日までの毎週日曜日や祝日に開催し、全22回の実施になります。教科は主要5科目、事前に聞き取り調査を行い、希望の授業内容ごとにグループ分けを行います。他の生徒と一緒に授業が難しい場合は個別にて対応(聞き取りをして、カリキュラム作成)基礎学力が定着していない場合は、基礎力の強化を目標に学習計画を立てます。島根大学教育学部の学生ボランティアの協力もあり、1対1～1対2の授業形式になっています。

### ■事業成果と今後の展望

アンケート結果から、講座の満足度は「とても満足」「満足」で100%の回答を得られました。その理由として、「わかりやすかったから」「質問しやすかったから」「わからなかった問題が解けるようになったから」といった回答があった。学生ボランティアについても「とても満足」「満足」が100%の回答を得られました。理由として、進路の相談に乗ってもらえたから、丁寧に教えてもらえたといった回答がありました。来年の受験生にも勧めたいという声もありました。コロナ感染症の影響が若干あり、大事をとって休む生徒もありましたが、クラスター等もなく、無事最後まで開催出来ました。ほとんどの生徒に成績の向上がみられ、一定の成果をあげることが出来たと考えます。来年度以降も、同様の講座を提供するとともに、島根大学とも連携を深め教育学部生のボランティア参加を積極的に進めていきたいと考えています。島根大学の学生ボランティアとのネットワーク構築を進め、今年度の経験が来年度以降も引き継がれていくよう取り組みます。また寄付金や助成金にて財源の確保に努めます。将来的に、行政と連携し安定した財源を確保することで、日曜日だけでなく平日の放課後にも開催し、もっとたくさん子どもたちが参加できるような活動にしていきたいと考えています。

## 寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	まつえワニの会
テーマ名	宍道湖を中心とする水辺の環境保全
事業名	宍道湖へ繋がる河川の外来種防除活動(水辺の環境保全)
事業費(うち助成金額)	699,542円(500,000円)
ネーミングライツ(該当があれば)	該当無し



### ■事業目的

特定外来生物に指定された、アカミミガメ、アメリカザリガニその他の外来生物の大繁殖により、在来生物(石亀、スッポンその他)が激減しております。(2020年、2021年、2022年の調査活動により)外来生物を駆除し、在来生物を復活させる活動です。

### ■事業内容

松江市内全河川にて、島根県・松江市の協力を得てカゴ罠を仕掛け、ほぼ毎日捕獲作業をし、松江市の冷凍庫にて処理をして焼却処分します。

### ■事業成果と今後の展望

2020年=263匹、2021年=2,274匹、2022年=3,758匹のアカミミガメを捕獲しておりますが、松江市は全国有数の「水の都」河川の多い所。

行政の主導により特定外来種の防除活動をしなければ松江市の水辺の自然が外来生物によって壊されてしまいます。島根県松江市の外来生物の防除活動の取組は全国に比べて遅れております。このままでは近い将来松江市の水辺の自然環境は外来生物によって壊されるでしょう。

2023年度「まつえワニの会」の外来生物の防除調査活動は(2023年3月10日現在)資金不足により未定。

## 寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	特定非営利活動法人あしづえ
テーマ名	子育てや社会教育の推進
事業名	地域の未来を創る人材育成事業 しいの実シアター未来学校「劇で遊ぼう！」
事業費(うち助成金額)	330,000 円
ネーミングライツ(該当があれば)	該当なし



### ■事業目的

家庭では、少子化により親の目が行き届きすぎて、子どもが失敗しないようにと大人が先に手を打ってしまうことが多いため、子どもたちが自らの発想で何もないゼロから創り上げ、失敗しても頑張ってやり直して成功を目指す、といった機会も限られている。

子どもの自主性を尊重し、「遊び」の要素を持たせた内容で実施し、子どもたち自身が①アイデアを出し、考え、試行錯誤しながら実現する力がついたという達成感を得る。②心の葛藤をのりこえて、仲間と力を合わせ、一つの作品を作る力がつく。③自ら発信し、表現する力がつき自分に自信を持つことができる。

### ■事業内容

日時：①令和4年7月29日(金)・30日(土)・31日(日) 各日10:00～16:00

②令和4年8月5日(金)・6日(土)・7日(日) 各日:10:00～16:00

場所：しいの実シアター・かやぶき交流館(昼食)

内容：初対面で、異年齢の小学生同士が、ゲームで仲良くなり、グループに分かれて衣装や大道具・小道具をつくり、工夫して劇遊びをし、3日目は、家族に見てもらおうミニ発表会を行う。

参加者：36名(44名申込のうちコロナのため8名欠席)

### ■事業成果と今後の展望

- ・昨年に引き続いて参加する児童が予約の段階で13名あった。これは、親子共に意義のある活動であることを感じてもらえた証。

- ・保護者の口コミで新しい人が増えた。父親が職場の人に伝えるなど、輪が広がった。

- ・「劇で遊ぼう！」で自由に自らが自主的な考えで行動できることの喜びと共に、活動する児童同士の葛藤があり、つらい体験をした子どももいたようだが、最後まで発表にこぎつけた様子を保護者が温かく見守っていたことがアンケートから読み取れた。

- ・「夢中で遊ぶ」姿をみる機会が少ない保護者やスタッフにとって、とても新鮮で、こどもたちの創造性と行動力に感動した。

- ・「演劇」への興味関心は確実に広がっている。演劇祭や落ち葉集めの事業などにも引き続き参加希望するなど、しいの実シアターの魅力も広がっていることは、大きな成果。

## 寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	天神エリア賑わい創出委員会
テーマ名	子育てや社会教育の推進
事業名	こども食堂(欠食支援)事業
事業費(うち助成金額)	460,960 円(200, 000 円)
ネーミングライツ(該当があれば)	該当無し



### ■事業目的

コロナ禍における経済状況の悪化をうけ、学校給食のない休日において、子どもへ毎日食事を提供できない貧困家庭が増加しています。そんな状況下で子どもも安定した心を保つことは容易ではありません。また大学生においても、コロナ感染症によるオンライン講義の増加やアルバイト先の減少等によって、以前に増して社会との繋がりが気薄となっており、精神的にも経済的にも不安定な学生生活を送っているという事態があります。そういった状況を受け、定期的に食事を提供する場を設けることで、経済的支援だけでなく、直接地域の人と触れ合う中で得ることのできる安心感といった、心の支援も普及させていきたいと考えています。

### ■事業内容

松江市内の複数の既存店舗を利用して月4回程度(長期休暇中は10回程度)「まちのごはん」を開催しています。大学生以下は無料で利用できますが、大人も300円で同じ食事を食べることができる仕組みとしており、貧困家庭だけではなく、一人暮らしで普段孤食となっている人、人の作ってくれたご飯が食べなくなった人、または人との触れ合いを求め人。そんな人々の憩いの場となっています。メニューは日替わりで、店舗での食事はもちろん、テイクアウトもできる形をとっており、利用する方々が望む形で食事がとれるよう工夫しています。

人のつくってくれた温かな食事を人と一緒に食べることで、訪れたら誰でもほっとできる場となるように努力しながら活動をしています。

### ■事業成果と今後の展望

令和4年度は夏休み期間の8月から活動を開始し、月4回程度(長期休暇中は10回程度)まちのごはんを開催してきました。8月からの5か月間で累計約960人の方々に利用いただき、夏休み中の子どもたち、大学生はもちろん、親御さんや近隣住民の方々も利用してくださり、少しずつですが認知度が上がってきています。

また、料理補助や給仕などをサポートして下さるボランティアの方々、さらには食材を寄付して下さる方も増え、地域の方々に支えていただきながら日々活動を続けています。

令和5年度も、昨年度と同様に近隣店舗の方々と協力しながら、より自立した持続可能な活動となるよう、金銭面や開催場所についても試行錯誤を続けながら活動をしていきたいと思っています。

私たちが目指すのは、限られた人しか利用できない食堂ではなく、誰もが気軽に利用できる食堂です。人が作ってくれた美味しい食事を人と一緒に食べる。自然と笑顔があふれてくる、そんな温かな場所を提供し続けていきたいと思っています。目標は「いつもどこかでまちのごはん」です。

## 寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	一般社団法人日本・山陰国際サポートセンター
テーマ名	フリーテーマ
事業名	外国人介護人材受入れ情報提供事業(西部地区)
事業費(うち助成金額)	38,591 円(同)
ネーミングライツ(該当があれば)	該当なし



第2章 まとめ(主要三資格の比較)

	特定技能 (海外人材)	特定技能 (関西人材)	技能実習	養成校習学
人材の供給状況	○ (年間40名/月)	○ (年間50名/月)	◎ (年間100名/年)	△ (申込は年1回)
入籍までの期間	2~3か月	技能実習終了後 (日本語検定合格)	8か月以上	(県内約5名/年) 2~3年後
送り出し国	フィリピン、ネパール、インドネシア	主にベトナム	多様な国	多様な国
受入れまでの費用	高 (50~40万円)	中 (40万円)	高 (30~60万円)	かなり高 (40万円*2~3年)
渡航費用	入国時のみ	国内移動費のみ	往復とも必要	不要
受入れ後の監理費用	中 (月2~3万円)	中 (月2~3万円)	高 (月4~5万円+税金費)	なし
受入れ時の日本語レベル	N4	N4 (N5+在日3年)	N4	N2*
受入れ時の介護技能	数か月の実技教育	特定技能試験 予キースト自学	数か月の実技教育	2年在日学習 日本人卒業生と同等

※SP41、全国41名/年

### 主な費用

1. 初期費用	
・在留資格申請	100,000円程度
・人材確保料	100,000~250,000円 (人数・企業条件により設定)
2. ランニングコスト	
・管理費(毎月)	25,000円程度 (人数・企業条件により設定)
・入国管理局へ定期報告(3か月に1度)	20,000円
上記に加え、ビザ更新費用等あり	
初年度 :	1 (35万円) + 2 (38万円) = <b>73万円/年</b>
次年度以降 :	<b>38万円 /年</b>

### ■事業目的

近年、介護分野の人手不足は深刻さを増しており、対策として外国人の受入れに関する制度が創設され注目を集めていますが、コロナ禍の継続、制度の複雑さ、文化・生活習慣の違いからくる問題等、課題も多く見られる。一方で、本県には介護の技能実習生を監理する団体が無く、事業者が受け入れに関心があっても情報を得ることが難しい状況にあることから、介護職場への外国人材の受入れについての情報を提供する機会を設けた。

### ■事業内容

#### オンラインを利用した外国人介護人材受入れに係る説明会の開催

浜田地区事業者対象：7月8日

安来地区事業者対象：7月21日

益田・大田地区事業者対象：8月25日

※当法人が受け入れ制度の概要説明を行った後、ゲストの監理団体等による経費等の説明を行った。

※各自治体の介護人材担当部局を通して管内の介護事業者に周知を図り、希望する事業者及び自治体担当者が参加した。

### ■事業成果と今後の展望

外国人介護人材の活用に興味を持つ事業所に必要な情報提供ができたが、オンラインのみの開催だったため、意見交換ができなかったことが残念な点として残った。

また、実際に受け入れを行っている現場の声を聞きたいとの要望が多く寄せられた。